

有力FX企業16社の月間データランキング-2017年7月-

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてFX(外国為替証拠金取引)店頭取引市場における有力企業16社^{*1}のアンケート調査を実施した。(有力FX企業月間ランキング-2017年1月より、調査対象企業が1社減少したため2016年12月に遡り、各データを再集計し、更新した)

1. 調査期間:2017年8月
2. 調査対象:FX業界大手、有力企業のうち社名又は数値の公表を前提として、協力を得られた16社を対象とした。
一部の企業で、統計数値や社名について非公開のものもあるため、集計対象が16社にならないものもある。
※社名及び数値を非公開とする企業は、集計の際、「その他」としてランキングから除外した。
3. 調査方法:当社専門研究員によるe-mailによるアンケート調査

【調査結果サマリー】

◆ 企業単体集計の2017年7月の預かり残高第1位はGMOクリック証券、第2位は外為どっとコム

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2017年7月末の有力FX企業15社^{*1}の預かり残高の合計は、8,513億円であった。7月は本調査対象企業15社中9社(その他企業1社含む)で預かり残高が増加し、前月比102億円増(1.22%増)となった。

◆ 企業単体集計の2017年7月の口座数の第1位はDMM.com証券、第2位はGMOクリック証券

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2017年7月末の有力FX企業16社^{*1}の口座数の合計は、439万口座であった。7月は前月比1.7万口座増(0.41%増)となった。ワイジェイFXの口座数が減少しているのは取扱い商品のうち、1つの商品のサービスを終了したためである。それ以外の企業(その他企業2社含む)では口座数が増加した。

◆ 2017年7月の取引高の第1位はGMOクリック証券、第2位はDMM.com証券

2017年7月の月間取引高は、有力FX企業12社^{*1}の合計で199兆円(百万通貨は1億円として換算)であった。7月は前月比21.1兆円減(9.55%減)であったが、本調査対象企業12社中2社(その他企業1社含む)で取引高が増加した。

(*1. 集計対象は、預かり残高15社、口座数16社、取引高12社、いずれも無回答を除く。)

(*2. SBIグループはSBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレード3社の店頭取引の合算値。GMOグループはGMOクリック証券、FXプライム by GMOの店頭取引の合算値。)

★**ご注意:**本ランキングは、情報提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘し、特定企業を推奨するものではありません。

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

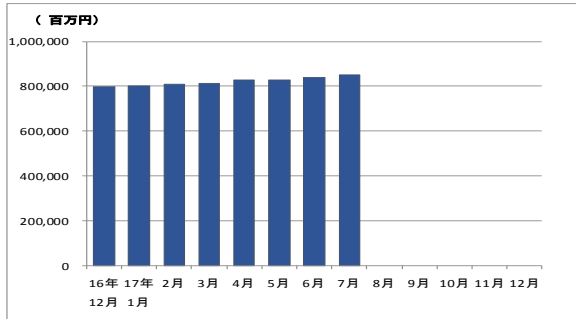
本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

プレスリリース

【 預かり残高 】

- 企業単体における預かり残高ランキングの第1位はGMOクリック証券で1,315億円、第2位の外為どっとコムは1,138億円。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(1,813億円)、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(1,478億円)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はGMOクリック証券(3.71%増)、次いでGMOグループ(3.07%増)であった。

図表 1. 預かり残高推移と7月月間ランキング



(単位：百万円、%)						
預かり残高 順位	社名	2017年6月	2017年7月	増減額	前月比	増加率 順位
1	SBIグループ	181,379	181,323	▲56	▲0.03	
2	GMOクリック証券	126,885	131,589	▲4,704	▲3.71	1
3	外為どっとコム	112,975	113,874	899	0.80	5
4	DMM.com証券	105,554	108,628	3,074	2.91	2
5	ワイジェイFX	95,780	96,543	763	0.80	5
6	セントラル短資FX	63,456	63,651	195	0.31	7
7	マネーパートナーズ	62,091	62,774	683	1.10	4
8	ヒロセ通商	40,622	40,658	36	0.09	8
9	FXプライムbyGMO	16,573	16,279	▲294	▲1.77	
10	트레이ダーズ証券	12,431	12,587	156	1.25	3
11	上田ハロー	11,240	11,155	▲85	▲0.76	
	その他(2社)	12,059	12,262	203	1.68	
	合計	841,045	851,323	10,278	1.22	

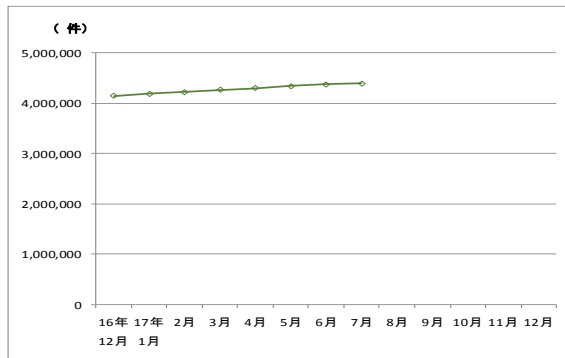
注1. 集計対象は無回答1社を除く15社の合計値。その他には2社含まれる。

矢野経済研究所調べ

【 口座数 】

- 企業単体における口座数ランキングの第1位はDMM.com証券で60.3万口座、第2位のGMOクリック証券は49.3万口座。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(95.5万口座)で、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(66.7万口座)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はDMM.com証券(1.28%増)、次いでSBIグループ(1.26%増)であった。

図表 2. 口座数推移と7月月間ランキング



(単位：件、%)						
口座数 順位	社名	2017年6月	2017年7月	増減数	前月比	増加率 順位
1	SBIグループ	943,920	955,818	11,898	1.26	2
2	DMM.com証券	596,359	603,991	7,632	1.28	1
3	GMOクリック証券	489,421	493,464	4,043	0.83	4
4	外為どっとコム	448,678	450,502	1,824	0.41	7
5	ワイジェイFX	336,065	320,286	▲15,779	▲4.70	
6	マネーパートナーズ	301,557	303,106	1,549	0.51	6
7	トレーダーズ証券	292,862	294,885	2,023	0.69	5
8	マネックス証券	237,943	238,746	803	0.34	8
9	ヒロセ通商	207,234	209,123	1,889	0.91	3
10	FXプライムbyGMO	173,346	173,943	597	0.34	8
11	セントラル短資FX	166,792	167,153	361	0.22	10
12	上田ハロー	53,055	53,061	6	0.01	11
	その他(2社)	132,342	133,417	1,075	0.81	
	合計	4,379,574	4,397,495	17,921	0.41	

注2. 集計対象は16社の合計値。その他には2社含まれる。

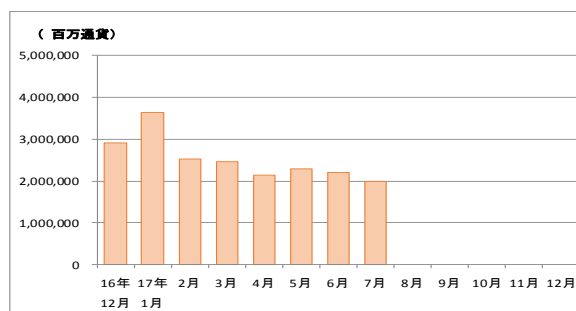
注3. ヒロセ通商の口座数には、バイナリーオプションの口座数が含まれる。

矢野経済研究所調べ

【 取引高 】

- 月間取引高ランキングの第1位はGMOクリック証券で59.8兆円(百万通貨を1億円として換算)、第2位はDMM.com証券で51.9兆円(同)であった。

図表 3. 月間取引高推移と7月月間ランキング



(単位：百万通貨、%)						
取引高 順位	社名	2017年6月	2017年7月	増減額	前月比	増加率 順位
1	GMOクリック証券	665,190	598,843	▲66,347	▲9.97	
2	DMM.com証券	562,520	519,042	▲43,478	▲7.73	
3	ヒロセ通商	264,355	230,034	▲34,321	▲12.98	
4	ワイジェイFX	240,784	219,355	▲21,429	▲8.90	
5	外為どっとコム	199,709	190,335	▲9,374	▲4.69	
6	マネーパートナーズ	82,184	88,166	5,982	7.28	1
7	FXプライムbyGMO	97,803	60,188	▲37,615	▲38.46	
8	マネックス証券	23,142	19,622	▲3,520	▲15.21	
	その他(4社)	75,031	74,069	▲962	▲1.28	
	合計	2,210,718	1,999,654	▲211,064	▲9.55	

注4. 集計対象は無回答4社を除く12社の合計値。その他には4社含まれる。

注5. FXプライム by GMO はカバーをしている同業他社等、マネーパートナーズはCFD(差金決済取引)、ヒロセ通商はホリトラベルを含む。

注6. マネックス証券は、証券単体の店頭取引の公表数値に営業日数を乗じて弊社で算出し、単位を億円で表記。

注7. 百万通貨は1億円として換算。

矢野経済研究所調べ